

神道のふるさと、伊勢の地から、日本の未来を生きる人たちへ。
元伊勢神宮禰宜 小堀邦夫が残した最後のメッセージ。

「神宮式年遷宮」という
日本文化の財産を
未来へ継承していくために。

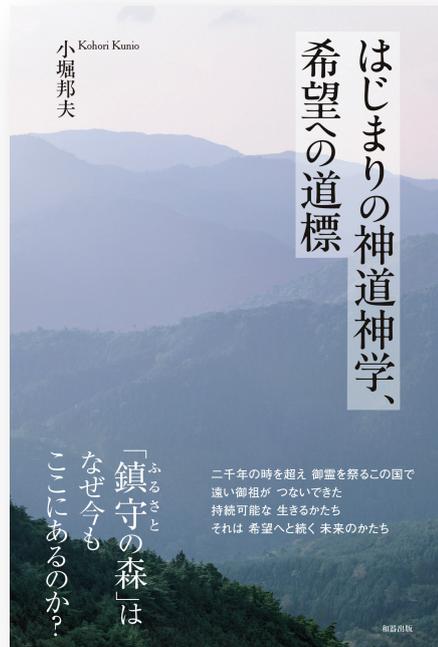


第六十三回神宮式年遷宮 奉賛の道理と課題

約1300年続く日本文化を代表する伝統行事、伊勢神宮の神宮式年遷宮。その伝統を伝え続けることの意義を、神宮の戦後史とあわせて、ていねいに紐解いていく。
「これからの神宮式年遷宮を担う次世代の方たちの指標となる一冊」(伊勢部柿本神社宮司 塩崎昇氏)。

2023年7月5日発売
定価：1,500円+税 / 86ページ / ISBN：978-4-908830-24-2
A5判 並製

「現代社会のこれから」に
希望をもたらすものは何か？
手がかりを求めて神道の源流へ。



はじまりの神道神学、 希望への道標

日本の未来は近現代の価値観を無批判に肯定する思想からはたして担保されるのか？——現代が直面している環境問題、エネルギー問題を根幹から問い質し、日本人が古来培ってきた暮らし方としての文化に希望を託す。令和5年に帰幽した著者の遺作。

「環境問題の克服へ神道的生き方探る」—中外日報 中外図書室より (令和6年8月30日付)

2024年2月17日発売
定価：2,200円+税 / 272ページ / ISBN：978-4-08830-25-9
四六判 上製

小堀邦夫(こほり くにお)

昭和25年、和歌山市生まれ。京都府立大学文学部卒、皇學館大学大学院国史学専攻課程、國學院大學神道学専攻科修了。文学修士。伊勢神宮に奉職、神宮禰宜として総合企画室長、祭儀部長、せんぐう館初代館長などを歴任。平成八年三月、米ハーバード大学に招かれ「神道とエコロジー」のシンポジウムにて講演。神職身分、特級・浄階。神宮評議員。靖國神社第十二代宮司。著書に、詩集『魂の原郷』(PHP研究所)、『伊勢神宮』(保育社カラー ブックス)、『天へのかけはし』(JDC)、『伊勢神宮のこころ、式年遷宮の意味』(淡交社)、『歌集 走鏢の令和』など。



〒107-0062 東京都港区南青山1丁目12-3 リフォーク南青山 N214

電話 03-5213-4766 ファクス 03-6700-9835 メール info@wakishp.com ホームページ <https://wakishp.com/>